ぜんせき
THE ZENSEKI
第7919号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）
2月15日（金曜日）2019年（平成31年）
発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2−17−14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130−4−52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

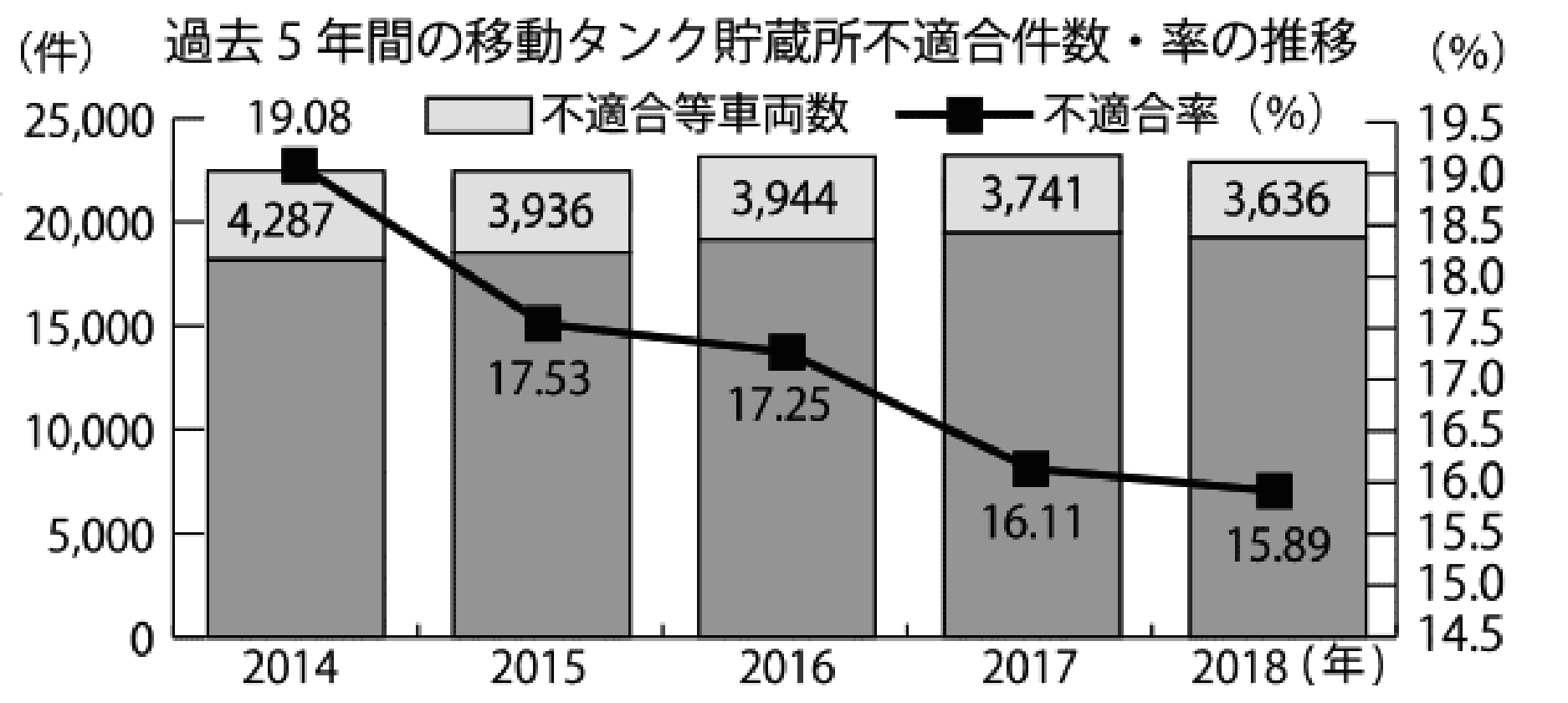
ローリー立入検査

無許可車が1.7倍に

不適合率15％超

消防庁

総務省消防庁はこのほど、昨年11月１～30日に実施した移動タンク貯蔵所（タンクローリー）や危険物運搬車両に対する立入検査などの結果をまとめた。このうち、タンクローリーの基準不適合車両の割合は前年比0.22ポイント（Ｐ）減の15.89％と４年連続で前年を下回り、過去５年で最低水準となった。ただ、タンクローリーにおける無許可車両数が112台に上り、昨年比1.7倍に増加するなど、消防庁では「複数の項目で違反車両数などが前年と比べ増加した」と指摘、調査実施車両が一部にとどまるため、この数字以上に違反車両が潜んでいる可能性が高いとみられることから、不適合件数の実態に強い危機感を示している。


過去５年間の移動タンク貯蔵所不適合件数・率の推移

立入検査のうち、重点項目として挙げている定期点検に係る義務違反は96件増の1225件に増加するなど、依然、ほかの項目と比べて「非常に違反台数が多い」と強調し、注意を促している。

消防庁では、不適合車両数や不適合率、不適合内容の内訳など分析し、今後、全日本トラック協会など関連団体を通じて、不適合車両の撲滅に向けた注意喚起を行うこととしている。また、危険物の輸送中における保安の確保も要請する。

同検査は、①位置、構造または設備の変更に係る変更許可申請の周知徹底②定期点検および点検記録簿などの備え付けの徹底③電気設備または設置導線の維持管理の徹底④危険物取扱者の保安講習受講、乗車および免状携行の徹底—の4項目を重点項目に、常置場所や危険物の積み卸し場所、道路上などで行われた。

タンクローリーの基準不適合車両で目立つのは、定期点検に係る義務違反のほか、電気設備、接地導線の不良などが24件増の590件、定期点検に係る義務違反のうち、漏れの点検未実施が51件増の466件に増加した。また、昨年に比べて件数は減ったものの、完成検査済証など備え付け義務違反が44件減の509件、消火器の未設置など（未設置、不足、その他）が42件減の486件、表示・標識の未設置など（未設置、不足、その他）が27件減の483件、その他設備の基準不適合が75件減の417件などの基準不適合車両が目立っている。

今回はタンクローリー2万2884台に加え、危険物運搬車両566台の計2万3450台を検査。合計での不適合車両数は102台減の3695台、不適合率も0・22Ｐ減の15・76％に減少した。

今週のガソリン小売市況概況（２月３週）

	ベンチマーク		備　考 ※斜字はフル
	前週	当週	
北海道	￥139	￥139	*札幌市・地場・系列*
北東北	￥140	￥140	秋田市・広域・系列
南東北	￥142	￥142	*仙台市・広域・系列*
信　越	￥135	￥135	新潟市・地場・系列
北関東	￥130	￥130	宇都宮市・異業種・PB
首都圏	￥128	￥129	印西市・異業種・PB
山　静	￥135	￥135	*静岡市・広域・系列*
東　海	￥129	￥129	鈴鹿市・広域・系列
北　陸	￥127	￥127	福井市・地場・系列
京　阪	￥136	￥134	大東市・子会社・系列
阪　神	￥139	￥139	神戸市・地場・系列
山　陽	￥142	￥142	岡山市・地場・系列
山　陰	￥141	￥141	*米子市・地場・系列*
四　国	￥149	￥149	*高松市・地場・系列*
九州北	￥143	￥143	*福岡市・地場・系列*
九州中	￥139	￥139	熊本市・広域・PB
九州南	￥147	￥147	宮崎市・地場・PB

“住民拠点”整備急ぐ

18年度第2次補正予算成立

大規模災害の発生を見据えた国土強靭化対策などを盛り込んだ2018年度第2次補正予算が8日の参議院本会議で、与党などの賛成多数で、可決・成立した。

このうち石油流通関係予算では61億円を盛り込んだ。昨年末に政府が取りまとめた「防災・減災、国土強靭化のための3ヵ年緊急対策」で明記された自家発電機を備えた「住民拠点SS」（10分の10補助）の全国配備を加速化させるため55・8億円を措置。19年度当初予算案でも25・8億円を計上しており、エネ庁が目標として掲げる全国8千ヵ所の早期配備を目指す。

また、災害時に備えた避難所や病院などの重要インフラへの自衛的な燃料備蓄を促す石油タンクの設置補助で5・2億円を措置した。

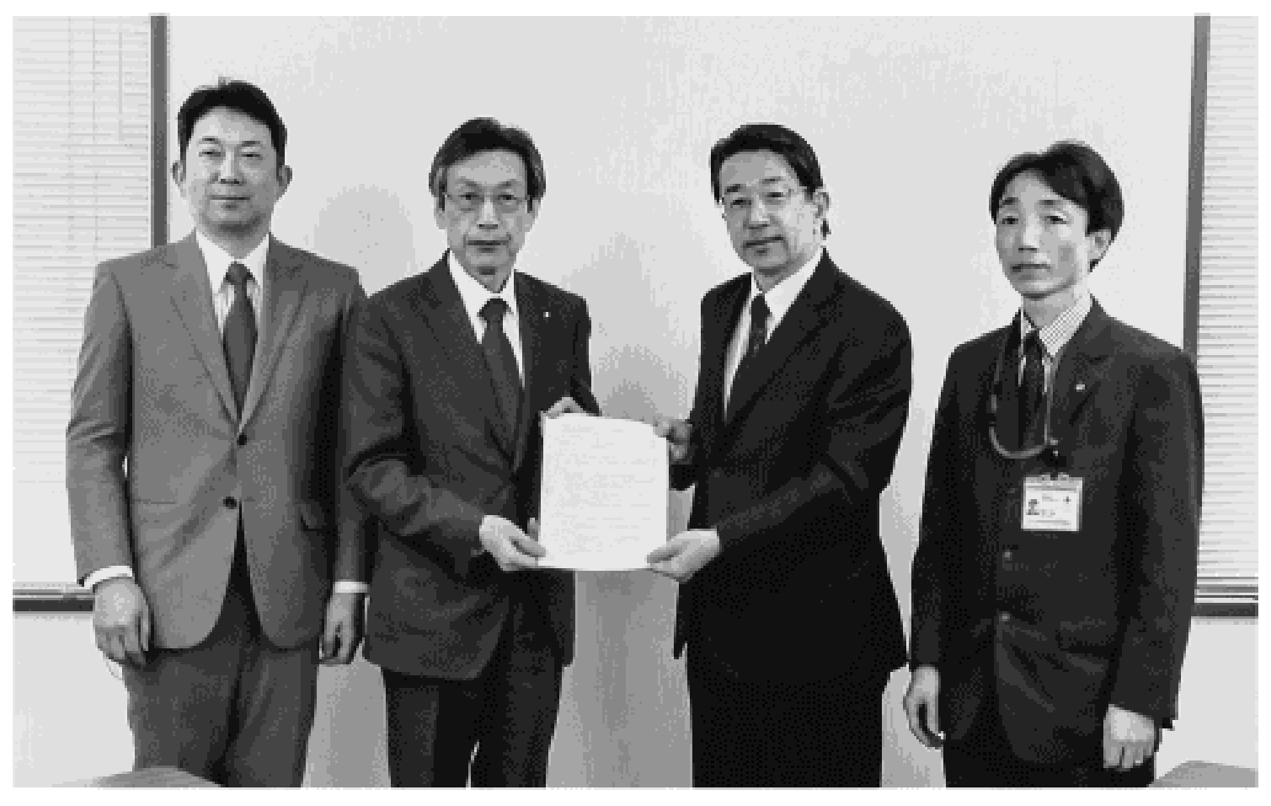
19年度当初予算案でも10・6億円を計上しており、発災直後の供給支障など不測の事態にも対応した自治体などの災害対策を後押しする。

赤十字と官公需契約

災害時協定締結　カードシステム活用

神奈川

【横浜】神奈川石協（木所章理事長）はこのほど、日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターと官公需契約・災害時協定を締結し、同センターに属する神奈川県赤十字血液センター（横浜市）への燃料供給を開始した。これを受け12日、横浜市内の石油会館で協定締結式を開いた。


協定書を交わす（左から）吉山委員長、木所理事長、藤崎所長、嶋崎課長

同石協から木所理事長と災害対策委員会の吉山昌秀委員長、県赤十字血液センター側は藤崎清道所長と事務部総務課の嶋崎隆弘課長が出席した。

協定は県赤十字血液センターの施設や車両に対して、平時は同石協が全国に先駆けて導入した「官公需カードシステム」を利用して給油、災害時は優先的に燃料供給するという内容。

吉山委員長によると「昨秋、横浜市医療局から打診があり、官公需契約や災害協定を推進する組合との思いが一致し、締結に至った」という。

協定式で、木所理事長は「万が一に備えた対策を強化しており、『災害時対応マニュアル』を作成し組合員のSSに配置するなどしている。協定に基づき、災害時は緊急車両に優先的に給油する」とあいさつ。

一方、藤崎所長は「災害時の優先的燃料供給が協定を通じ確保された。赤十字として画期的で大きな成果。これからも情報共有しながら、平時も災害時も協力していただきたい」と述べた。今後、各地の石油組合と血液センターが同様の協定を結ぶ動きが広がる可能性もありそうだ。

JXTG 出光、昭シ

全油種0.5～1円高

販売業者筋によると、JXTGエネルギーは14日からの基準仕切りを前週比で全油種1円の値上げと通知した。値上げは3週ぶり。

出光も14日からの仕切りを全油種で前週比で1円の値上げとした。昭シェルは14日からの仕切りを全油種で0・5円の値上げとした。値上げは3週ぶりとなる。

昭シェル 1～4Q

石油実質益33％増

昭和シェル石油の今期第4四半期連結決算は、前年同期比（決算期を3月までの15ヵ月に変更のため17年通期と比較）で売上高が22％増の2兆4946億円、営業利益は4％増の819億円（在庫評価影響を除いた営業利益は32％増の712億円）、経常利益は昨年10月以降の原油価格急落に伴う棚卸資産評価損の発生などに起因して9％減の848億円、純利益が3％増の440億円となった。

営業利益の内訳は、石油事業が7％増の911億円、在庫影響を除くと33％増の805億円、エネルギーソリューション事業は30億円の減益となり損失109億円だった。

通期連結業績予想は、売上高が3兆円、営業利益が750億円、経常利益が800億円、純利益が250億円といずれも下方修正した。

国交省

内航海運活性化へ

ハード・ソフト両面から

国土交通省は12日、内航フェリー・RORO船の活性化に向け、海事局と港湾局が協力してハード・ソフト両面から施策を推進するため内航海運事業者等へのヒアリングを行い、来年度以降、協議の場で検討していく考えを明らかにした。

将来的なドライバー不足の懸念払拭や災害時の機動力などの観点から、貨物を積んだトラックやトレーラーが自走で乗降でき、そのまま運べる船（＝RORO船）の活用が期待されている。港湾局は昨夏、港湾の中長期政策『PORT2030』を取りまとめ、方向性の1つとして「持続可能で新たな価値を創造する国内物流体系の構築」を掲げ、高速道路等との連携、海陸一貫輸送網の推進・活用、自動運航の導入促進などを提言している。

国内貨物輸送量（トンベース）の分担率は、自動車50％、内航海運44％、鉄道5％で、特に石油製品の9割弱、鉄鋼の6割以上が船舶で輸送されているが、最近ではトラックドライバー不足や雑貨輸送の内航シフトなどを背景に内航海運シェアが増加基調にあり、今後も同様のモーダルシフトが続くと見込まれる。

現在、内航ROROは27航路（距離300キロ以上）、フェリーは19航路（100キロ以上）が就航中。中長距離内航航路のフェリー・RORO船は大型化が進む一方、岸壁の水深や延長の不足などが課題となっているほか、往路と復路の貨物量が不均衡で、空コンテナ輸送も一定化している。

カーボンリサイクル協議会設置

官民連携で技術革新

経産省

経済産業省は12日、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素（CO_2）の削減に向け、カーボンリサイクルを着実に推進していくため、関係政府機関や民間団体などと連携し、「カーボンリサイクル協議会」を設置することを明らかにした。14日に初会合を開き、カーボンリサイクルに取り組む目的や具体的な施策の概要などを報告した。また、今後官民の連携を強化し、施策の着実な実施について意見交換した。

カーボンリサイクルとは、CO_2を炭素（カーボン）資源と捉え、これを回収し、多様な炭素化合物として再利用（リサイクル）するもの。CO_2の分離・回収の効率化、燃料や素材としての再利用、植物工場での活用など、大気へのCO_2排出を抑制する一連の循環システムを構築していくのが狙い。経産省では、これまでエネ庁資源・燃料部、産業技術環境局、製造産業局に分かれて進められてきたCO_2の分離・回収、活用に関する技術開発の取りまとめ役を担う「カーボンリサイクル室」を1日付で立ち上げた。

ポンプ あ・い・ら・ん・ど

▼「働くっていうのは、額に汗して真っ黒な手して働く人たちのことを言うんだ」。映画「フーテンの寅さん」で生まれ故郷の東京・葛飾柴又に戻った寅さんが、日ごろ憎まれ口をきいている隣の印刷工場従業員にエールと敬意を込め、テキ屋の自分を戒めて発したセリフだ▼回転ずしなど外食チェーン店でさばいた魚をゴミ箱に投入し再びまな板に戻したり、調理器具を股間にあてたり。アルバイト従業員らはその動画をネット上にアップさせた。炎上狙いの悪ふざけでは済まされない悪質行為に、会社側は業務妨害等の刑事処罰や損害賠償請求を検討しているという▼「仕事ってのは、なにしても楽なものはないんだ」。油まみれで働いた寅さんの名言。客からは見えないチェーン店のバックヤードで、不衛生だけでは済まされない恥ずべき行為を寅さんならどう戒めるだろう。SS業界もアルバイト従業員は数多いが、皆プロ意識に徹し笑顔で汗を流している。戸外の職場で、雨にも風にも暑さ寒さにも負けず…▼こうした笑顔での接客ぶりなど歴史的に育んできたもてなしの心、清浄感、礼儀作法などの日本文化に魅力を抱き訪日外国人客は増えるばかり。来年は4千万人を超えるとか。不心得者の所業で訪日客の期待を裏切ってはならない。東京五輪開幕まであと525日しかない。

きょうの紙面

2面　18年・外国乗用車新規登録
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面　北海道版・灯油の経済性が回復／九州版・座間味島・タンク完成
4面　トレンドファイル／月間DATA

論　説

経営の前提は内需5％減

ガソリンの売れ行きが不振であるという声を最近、特に多く聞くようになった。「夏場以降の高価格のせい」かというと、そうでもない。都市郊外では130円台が当たり前に見受けられる昨今においても、好天続きだった首都圏においても「年末年始で5％減」という肌感覚を訴える声が多くなった。

統計的にみると、2018年1−12月の暦年ガソリン内需は前年比1・6％減の5105万キロリットルとなった。17年が1・8％減であったこと、エネ庁が4月に公表した18年度4−3月見通しが2・1％減だったことを踏まえると、減少率がそれらよりも小幅にとどまったことは事実ではあるが、これで安心してはならない。18年は1−3月が0・6％減、4−6月が0・9％減と、いずれも減少というより横ばい状況となっていたが、7−9月は1・3％減と減少率が高まり、10−12月に至っては3・5％減となった。中でも11月は5・0％減を記録し、その状況が今日まで続いていると見るのが妥当であろう。

5％減とは、全国津々浦々で万遍なく20台の来店が19台になったことを意味するもので、SS経営者は軒並み「ただならぬ気配」を実感するようになったはずだ。20台が19台になったことで、それに比例して洗車もタイヤ交換も車検整備も減少するのが自明の理である。

一部量販SSや商社系の広域直営SSは、その気配を「数量が回復するまで、それまでの高価格・高収益路線を大幅に修正する」手法で解消することを目指したところも見られたが、大きな勘違いである。わずか2年前まで続いた平成の29年余、21世紀の16年余、粗利を削り続けたSS消耗戦の時代から、なにも学んでいない愚行であり、蛮行である。クルマの低燃費に拍車がかかり、ガソリン不要なEVが増勢する事実を踏まえ、「5％減っていくのが当たり前である」という厳しい現実に対処するための経営手法としては大きな誤りである。

内需減に対処する手法をSSスタッフに聞いてみるとよい。店頭の疲弊に目を背けて、人手不足への対策を後回しにし、目先の数量を振り回すだけの経営に「ノー」という声が聞こえるはずだ。5％減が登場するようないまだからこそ、これから3年後、5年後を目指した新たなSSモデルに第一歩を踏み出す決意をすべきである。そのために不足する原資を得ることを最重視するのが経営である。

TMC
TOMINAGA MFG CO
"燃料供給システム"の明日に取組む
NEW!
ALUNA MULTI
アルーナマルチ
SSを魅了する
次世代「業界標準型計量機」誕生!!
アルミ素材を基調としたスタイリッシュなデザインの"TOMINAGA NEWモデル計量機"です。
新たに採用した高輝度大型LCD表示器は、鮮やかなコントラストで視認性が大幅に向上。
水検知機能や音声ガイダンス等多彩なオプション機能も充実し、安心・安全な給油をご提供します。
http://www.kyoto-tmc.co.jp
株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312
東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180
関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606
高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118
事業所・代理店／全国主要39都市

JAIA・18年外国乗用車新規登録

2年連続、30万台突破

ベンツ首位譲らず

日本自動車輸入組合（JAIA）が先ごろ集計した2018年の外国メーカー乗用車新規登録台数は前年比1・1%増の30・8万台で、3年連続増加、2年連続30万台超となった。

メーカー別では、メルセデスベンツが1・0%減の6・7万台で純輸入車として4年連続首位、プレミアムブランドとしては6年連続トップを維持。商品構成は32車種163モデルまで拡大している。昨年は新車購入後3年間、毎年好きなモデルを1週間利用できる「シェアカー・プラス」等の新サービスを開始するなど利用体験を広げた。

フォルクスワーゲンは6・0%増の5・2万台で、20年ぶりのディーゼル搭載モデルも導入。アウディは6・6%減の2・6万台にとどまった。VWグループ全体では過去最高の世界合計1083万台を記録し、VW乗用車（624・4万台）、ポルシェ（25・6万台）、ランボルギーニが新記録を達成する一方、アウディは3・5%減の181・3万台だった。

BMWは2・9%減の5・1万台、MINIは2・2%増の2・6万台。BMWグループのロールスロイスは2・2%増の230台など、全地域で増販した結果、世界累計が過去最多の4107台を記録した。

2018年 外国メーカー乗用新車販売台数

	2018年	前年比
ベンツ	67,554	-1.0%
VW	51,961	6.0%
BMW	50,982	-2.9%
アウディ	26,473	-6.6%
MINI	25,984	2.2%
ボルボ	17,805	10.5%
ジープ	11,438	13.2%
プジョー	9,881	19.9%
ルノー	7,253	1.9%
ポルシェ	7,166	3.5%
フィアット	6,014	-7.8%
ランドローバー	3,972	9.8%
シトロエン	3,654	15.9%
ジャガー	3,260	24.7%
アルファロメオ	2,510	36.6%
スマート	2,465	-46.9%
アバルト	2,352	2.9%
マセラティ	1,453	-20.3%
シボレー	878	8.5%
フェラーリ	767	-1.0%
DS	749	-6.3%
キャデラック	633	9.1%
ランボルギーニ	543	14.3%
フォード	484	-12.2%
ベントレー	437	4.5%
ダッジ	399	14.3%
アストンマーチン	318	-0.9%
BMWアルピナ	253	15.5%
ロールスロイス	230	2.2%
ロータス	224	30.2%
マクラーレン	222	35.4%
クライスラー	49	-77.0%
ヒュンダイ	16	-87.4%

内閣府とNEDO　イベントで認知促進

自動運転バスを体験

内閣府と新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）はこのほど、江東区のTFTホールで「自動運転のある未来ショーケース」と題したイベントを開催し、産学官連携で5年間研究開発してきた成果発表を行うとともに、自動運転バスの試乗など体験イベントを通じて、自動走行システム実現に向けた取り組みの認知促進を図った。

自動運転バス（写真）は次世代都市交通システム（ART）の技術を紹介する内容で、TFTホールから豊洲駅間を部分的に自動走行した。車椅子でも容易に乗降できるようにバス停にプラットフォームを設置し、10センチ程度の非常に近い間隔で停車させ、自動走行システムの精度の高さを披露した。また信号の待ち時間を短縮しバスの運行をスムーズにする公共交通優先通行システム（PTPS）の実演も行った。バスと信号機が通信で連携し、バスの走行状況に合わせ青・赤の時間の延長や短縮を行い調整する。

キュー太郎
浜坂高一朗
あーあ
上役にたてついたら
左遷されたよ
あの人の会社は大きくないけど
どんな左遷をされてるのかな

明日への技術と信頼のサービス
TATSUNO

今週の市況　ガソリン　2月第3週

大勢様子見も一部軟化

◎北海道…札幌はセルフ137円程度、フル139〜144円、安値量販セルフ135・8円表示で横ばいで推移している。

◎東北…セルフは仙台市が132〜142円で変わらず。盛岡市は上値がやや軟化し130〜3円。山形市は133〜148円、青森は127〜139円でともに横ばい。秋田市は140円前後中心、福島市は146円前後でともに変わらず。

◎北関東…群馬は高崎市が143円前後。栃木は県北140円前後、県央134〜7円、県南135円前後。茨城はセルフ139円前後が中心で推移している。

◎首都圏…埼玉はセルフ135円前後中心。千葉は136円前後で一部に値上がり傾向も表れている。都内の主要幹線沿い量販店は大きな動きがなく、フリー130円半ば〜後半中心で推移している。

◎山静…静岡はセルフで静岡市内139〜141円程度、県東部134〜7円、県西部139〜141円。山梨はセルフ会員139円前後で横ばい。

◎東海…横ばい。名古屋市内や東三河などは134〜8円とほとんど動きがない。常滑の激安2店は前週に続きそれぞれ1円値上がりしコストコ124円、PBバロンパーク123円。この価格の影響を受ける知多や西三河で128〜131円の攻防が続いている。三重もクイックピット白子など安売りPBや一部系列が124〜9円販売を続けているが、大半は135円程度。岐阜はコストコ羽島が123円など激安店が目立ってきた。

◎北陸…石川、富山、福井でミタニグループが攻勢をかけ、PBカナショクチェーンと130円前後の価格競争を続けている。3県ともこの影響で厳しい市況が続く。

◎近畿…滋賀は大津市内で138〜141円が中心。京都は京都市内で134〜141円、北部では141〜5円。大阪は北部で136〜140円、南部で133〜8円。奈良は134〜7円。和歌山市内は129〜136円が中心だが、PBは122〜5円。兵庫は135〜140円程度となっている。

◎中国…セルフ価格は、山口市内で4円程度軟化し133〜5円程度に。岡山市内は140〜2円前後、鳥取県米子市も139〜140円前後と横ばい。広島市内では130〜2円前後で推移している。

◎四国…全体的に横ばい傾向。セルフ価格は、高松市内で145円前後中心と横ばい状態が続く。徳島市内は129円前後が中心で推移している。

◎九州…全体的に大きな動きはない。福岡市中心部は143円前後が多いが、141円前後も増えている。郊外では130円台後半も点在。大分はほとんど150円台で推移している。長崎市内は150円前後が多い。

週末20円引きに困惑

豊岡業者　掛への影響不安視

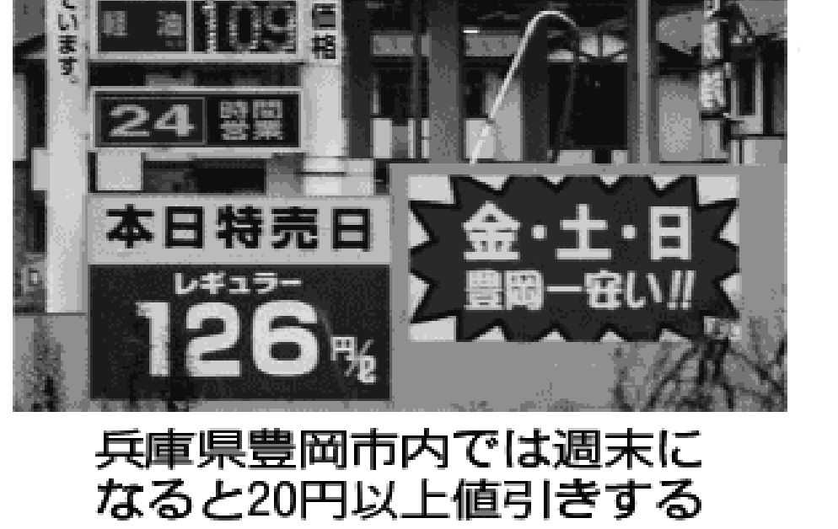
兵　庫

【豊岡＝兵庫】兵庫県豊岡市内では週末になると20円以上値引きするSSが出現している。地場業者からは困惑する声が相次ぎ、一部では値引き幅拡大を打ち出す動きがある。掛売りに悪影響を及ぼす可能性が強く、不安は高まる一方だ。

同市内ではレギュラー150円台で販売している地場SS業者が多く、PBSSも140円台で販売している。県内では穏やかな地域のように見えるが、週末になると一転し、大幅値引きするSSが出現。特約店社長は「値引き幅が大きいので、平日の来店客は限定給油ばかり。現金客は取られている」と困惑する。

一部では会員向けに8〜10円と大幅な割引きや過剰サービスを行う地場SSも出現しているが、特約店社長は「数円程度の格差なら我慢できるが、20円も格差がつくと、セルフだと対策を取らざるを得なくなる。利益はかなり悪化しているのではないか」と指摘する。

販売店社長は「このままだと掛売りにも悪影響が出てくる恐れがある。市内は県内でもマーケットの規模も小さく、対抗すると潰れてしまう」と懸念する。



兵庫県豊岡市内では週末になると20円以上値引きするSSが出現している

関東で今冬最大寒波

ガソリンも底冷え

9日から11日にかけ、関東地方を襲った今冬最大の寒波は一部地域で灯油や洗車の需要を押し上げたが、ガソリンは減販傾向が強かったようだ。茨城県の観光地周辺のSSからは、「建国記念日までの3日間、例年に比べ30%程度は需要が落ちた」との声が聞かれる。また、スタッドレスタイヤの販売もそれほど多くなく、シーズン末期の寒波に戸惑うSSが大勢を占めた。

今年度最後の3連休は、大寒波の影響があまりにも大きかった。9日、11日の両日、各地で降雪に見舞われ、特に首都圏ではスリップ事故などが相次いだことから、ドライバーが車を使用することを控え気味だったとみられる。冷え込みで期待された灯油需要の伸びも、ほとんどの地域で「通常通り」とみられる。観光地の業者は「冬タイヤへの履き替えを求めるユーザーは若干あったようだが、それ以上に来店数が極端に減った。ガソリンが売れなかったという印象が強い」と振り返っている。

オートモビル・カウンシル開催

4月5〜7日

〝自動車文化とヘリテージカーの祭典〟を謳う第4回「オートモビル・カウンシル2019」が4月5〜7日、千葉市の幕張メッセで開催される。公式ウェブサイトをリニューアルオープンし、前売りチケットの販売を始めている。

今回は「クルマを中心とした大人の趣味人が集う夢の街〝プレシャス・スプリング・タウン〟」をコンセプトに、カーライフや日常生活を豊かに楽しむための商品やサービスも紹介。主催者展示では、イタリアのカロッツェリアが生み出した1960〜70年代の傑作であるランボルギーニ・ミウラP400S、マセラティ・ギブリ、フェラーリ365GTB/4デイトナを出展する。また『オートモビル・カウンシル・クラブ』を正式発足する。

多量配達灯油

0・05円上昇

札幌市モニター

【札幌】札幌市消費生活課が8日に実施した石油製品小売価格調査の結果によると、ホームタンク向け多量配達灯油（200㍑程度以上）の平均価格は90・12円で、1月25日調査からほぼ横ばいとなる0・05円の値上がりとなった。

調査店100店（うち取り扱い休止・なし26店）の最多価格は89円（19店）。最安は80円（2店）、最高は100円（1店）。

ガソリン（現金）はフルが140円、セルフが137円。同じく軽油は123円、120円で、両油種ともフルで1円、セルフで2円値下がりした。

生活、産業、地域を支える　石油の力SSの力

北海道札幌市
▶vol.319◀

BCP策定

災害時対応をレベルアップ

中和石油（本社・札幌市、杉澤謙次郎社長・JXTG系）は、「北海道災害対応フェア」を11〜14日の4日間にわたり札幌市内のホテルで開催した。昨年9月の北海道胆振東部地震を契機とした初の試みで、「事業継続計画（BCP）」の重要性を道内の企業にアピールした。

万一の災害時に備えて、国は各企業にBCPを早期に策定するよう推奨しているが、取り組んでいる企業はまだ少ないのが実情だ。特に北海道内での動きは鈍く、石油販売業者にはほとんど見られない中、中和石油は昨年8月にBCPの策定を完了。奇しくも翌月発生した胆振東部地震に間に合わせたかのようなタイミングで、早くも効力を発揮した。

同社グループは地震発生から1時間後に、本社に災害本部を設置。全社員に連絡して安否を確認したうえで、ブラックアウトによる大規模停電の中、中核SSをはじめ、すべてのSSを営業した。各SSでは、病院や介護施設などの車両を含む緊急車両に優先給油を実施した。

また、液状化現象が発生して多くの家屋が被災した札幌市清田区での緊急作業では、同社が市から要請を受けて、燃料油を供給。市は同社の迅速で的確な対応を労い、市長名での感謝状を杉澤社長に贈っている。

こうした万全な災害対応を果たした同社だが、杉澤社長は「中和石油として、お客様ごとの災害サポートを想定しておけば、より迅速な対応が可能だった」と反省。エネルギーを供給するだけではなく、普段から災害時に対応できる体制づくりや商品などを提案することが使命だと痛感して「北海道災害対応フェア」を4日間にわたって初めて開催した。

初日の祝日は一般ユーザーを対象に、「わが家の防災」を楽しく考える催しを開いた。翌日からは企業を対象に、東京海上日動火災保険のリスクコンサルティングがBCP策定の無料コンサルティングを行った。

中和石油は新たにサービスを開始する「ちゅうわBCP」のブースを設けて、内容を説明。同社と災害協定を結んだ企業には、「災害対応SSでの優先供給」「専属貯蔵による燃料確保」「事業所運営のための燃料優先配送」「代替営業車としてのレンタカー優先配車」「発電用自動車の提案」「ニーズに合わせたサービス」を提供する。

フェアでは各界著名人による基調講演も行われた。杉澤社長も連日登壇して、「北海道の災害対応のレベルを上げられるのは企業」と強調。BCPの策定を勧めた。

中和石油株式会社
BCP対応
総合窓口

災害時のエネルギー確保の必要性を訴える「ちゅうわBCP」のブース

シェル美術賞表彰式

受賞8作品など選出

昭シェル

昭和シェル石油は先ごろ、シェル美術賞の表彰式を港区の国立新美術館で開催し、グランプリ作家へトロフィーを贈呈した。

同賞は今回で47回目を迎え、593人・839作品の中から、受賞8作品、入選46作品を選出した。

同社の坂田貴志常務執行役員CFO広報・経理・財務・財務リスク管理部門担当は「4月の出光興産との経営統合後も社会貢献活動は引き続き実施する。両社の取り組みを尊重し協働することで、新たな価値創造に努めていく」と話している。

SOLATO野球

教室に87人参加

太　陽

【松山】太陽石油は先ごろ、松山市の屋内運動場で、愛媛マンダリンパイレーツ「河原監督が本気で教える！SOLATO野球教室」を開催し、河原純一監督による直接かつ本格的な指導が行われた。愛媛県内の中学生野球部員総勢87人が参加。河原監督からマンツーマンで指導を受けた。

DATAコーナー

■石油先物市場・2／13

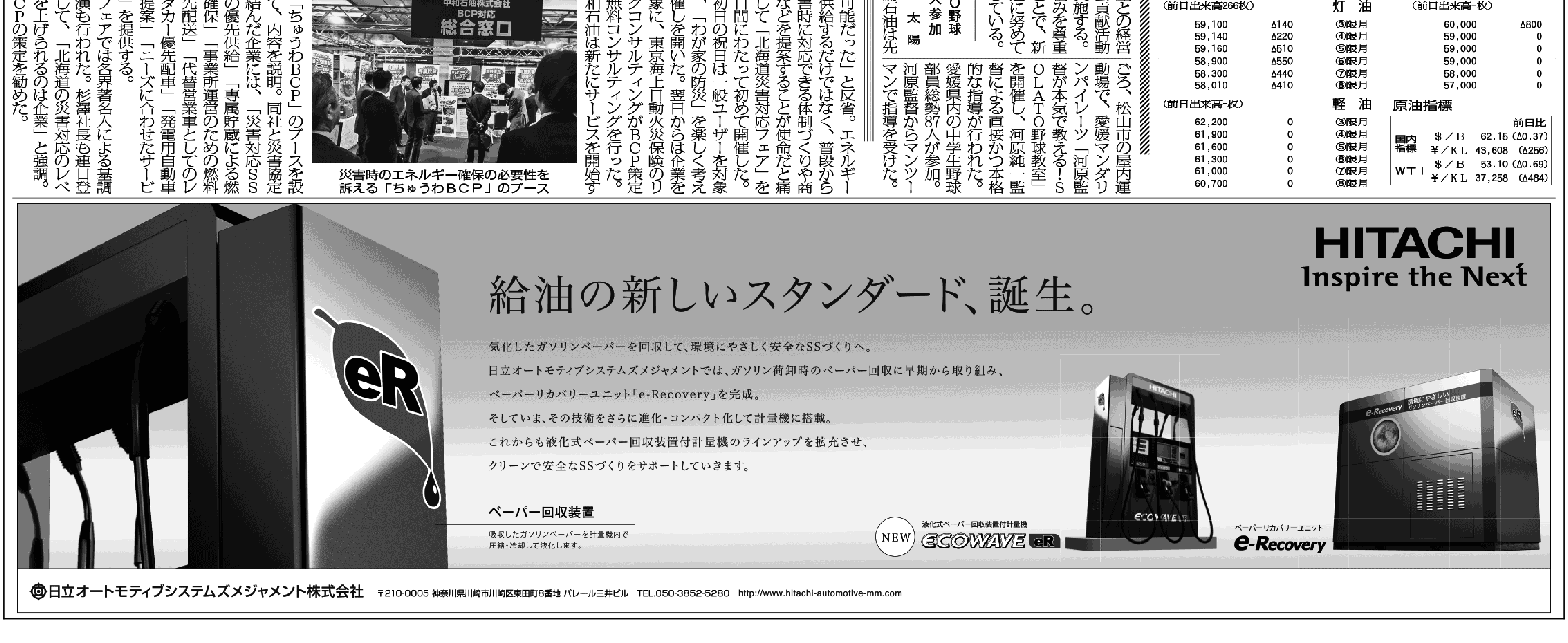
△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）　中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

東京 16：30現在	前日比	限月	中京 16：30現在	前日比
（前日出来高876枚）		ガソリン	（前日出来高10枚）	
54,680	△990	③限月	55,700	△450
54,810	△970	④限月	55,900	△2,900
54,500	△880	⑤限月	53,000	0
54,290	△800	⑥限月	53,400	0
54,060	△960	⑦限月	55,000	0
53,810	△910	⑧限月	55,000	0
（前日出来高266枚）		灯　油	（前日出来高-枚）	
59,100	△140	③限月	60,000	△800
59,140	△220	④限月	59,000	0
59,160	△510	⑤限月	59,000	0
58,900	△550	⑥限月	59,000	0
58,300	△440	⑦限月	58,000	0
58,010	△410	⑧限月	57,000	0
（前日出来高-枚）		軽　油		
62,200	0	③限月		
61,900	0	④限月		
61,600	0	⑤限月		
61,300	0	⑥限月		
61,000	0	⑦限月		
60,700	0	⑧限月		

原油指標

			前日比
国内指標	＄／B	62.15	（△0.37）
	￥／KL	43,608	（△256）
WTI	＄／B	53.10	（△0.69）
	￥／KL	37,258	（△484）


HITACHI
Inspire the Next

給油の新しいスタンダード、誕生。

気化したガソリンベーパーを回収して、環境にやさしく安全なSSづくりへ。
日立オートモティブシステムズメジャメントでは、ガソリン荷卸時のベーパー回収に早期から取り組み、
ベーパーリカバリーユニット「e-Recovery」を完成。
そしていま、その技術をさらに進化・コンパクト化して計量機に搭載。
これからも液化式ベーパー回収装置付計量機のラインアップを拡充させ、
クリーンで安全なSSづくりをサポートしていきます。

ベーパー回収装置
吸収したガソリンベーパーを計量機内で圧縮・冷却して液化します。

NEW　液化式ベーパー回収装置付計量機　ECOWAVE eR
ベーパーリカバリーユニット　e-Recovery

日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社　〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル　TEL.050-3852-5280　http://www.hitachi-automotive-mm.com

北海道

北海道支局（札幌市豊平区平岸1条6-3-47 北海道石油会館）
011（822）8117

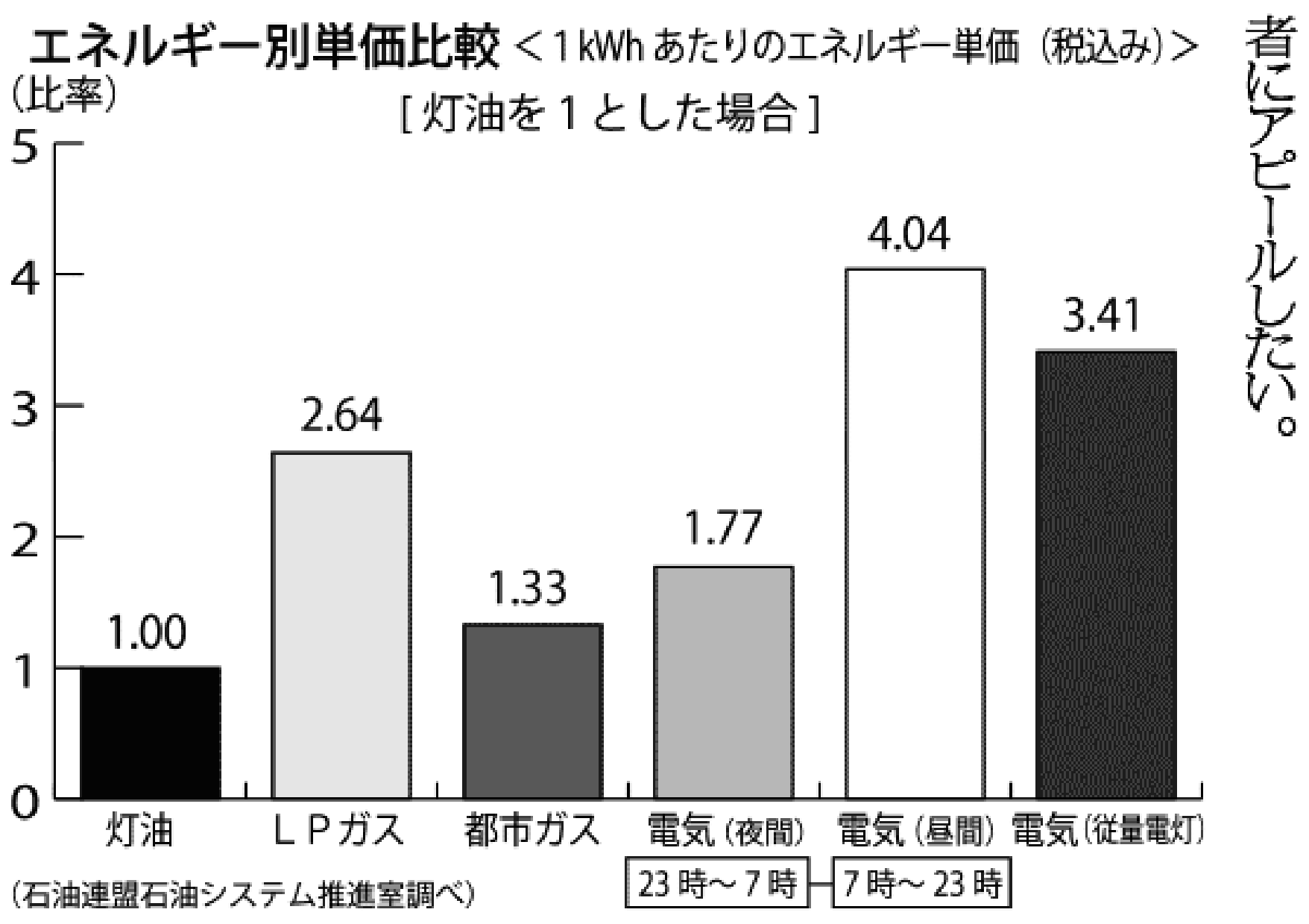
石油連盟コスト試算

灯油の経済性が回復

消費者へ〝お得さ〟説明を！

先週末は観測史上最強の猛烈な寒波に見舞われた北海道。向こう1ヵ月は平年より寒い日が全道的に続くと気象台は予報している。暖房用灯油の需要期はいまがまさに本番。4シーズンぶりに㍑100円を超える高値でのスタートに先行きが懸念されたものの、現在はほぼ昨冬並みの水準に落ち着いてきている。灯油の経済性を消費者にアピールしたい。

エネルギー別単価比較＜1kWhあたりのエネルギー単価（税込み）＞



（石油連盟石油システム推進室調べ）

石油連盟の試算によると、北海道における昨年12月末現在の各エネルギーのコスト（円／kW時、消費税込み）は、灯油（㍑96・56円で計算）が9・47円で最も安かった。10円を下回ったのは灯油のみで、電気と比較すると最も安価な夜間（23～7時）よりも7・27円安い。

灯油に次いで安かったのは都市ガスの12・61円。電気は夜間が16・74円と比較的安いものの、従量電灯は32・33円、昼間（7～23時）は38・27円と高額になっている。LPガスは24・97円だった。

なお、灯油以外の電気、ガスはいずれも基本料金がかかるが、この試算では考慮していない。これを反映させた場合、灯油以外のコストはさらに上昇する。

また、灯油のエネルギーコストを1とした場合、都市ガスが1・33、LPガスは2・64になる。電気は夜間が1・77だったが、従量電灯は3・41、昼間は4・04となった。

昨秋の原油価格の高騰を受けて、今冬の灯油価格は4シーズンぶりに㍑100円を超える高値でのスタートを強いられた。しかし、その後は右肩下がりとなって、コープさっぽろの現在の価格は札幌で89円、最高値の稚内などで92円。前年同期と比べるといずれも1円高いだけで、ほぼ同水準に落ち着いている。

灯油の経済性は、どのライバルエネルギーよりも優れている。販売業者はしっかりと顧客に説明をして、灯油離れを防いでほしい。

道石油ＳＣ

雪まつりでブース出展

エコフィール〝冠〟にアピール

エコフィール スノーラフト
SNOW RAFTING
TICKET
受付

札幌市内の3会場で11日まで開かれていた「さっぽろ雪まつり」は、70回目の節目とあって、例年以上に国内外からの大勢の観光客で賑わった。東区のつどーむ会場では、ドーム内に設けられた企業PRブースに、石油連盟北海道システムセンター（横田雅幸所長）が前回に続いて「石油の力　ぬくもりステーション」（写真上）を設置。クイズに答えてのガラポン抽選で「エコフィール」の省エネ性能と「灯油」のCO₂排出量の少なさをアピールした。

また、屋外アトラクションで人気の「スノーラフト」には、石油連盟と北海道石油システム推進協議会が協賛して「エコフィール」を冠に（写真下）。「エコフィールってなに？」と思った人に、「石油の力　ぬくもりステーション」でその正体に気づいてもらう仕掛けを演出した。

札幌市・上期一般競争入札

参加申請3月14日まで

札幌市は2019年度上期（4月1日～9月30日）に購入する石油製品の一般競争入札を行う。開札日は灯油、A重油、クリーンA重油とも3月20日。入札参加申請は、いずれも21日から3月14日まで。購入油種、予定数量（㌔㍑）は次の通り。

＜灯油＞

▽中央区＝17・2▽北区＝46・6▽東区＝22・7▽白石区＝127・5▽厚別区＝15・8▽豊平区＝34・7▽清田区＝212・1▽南区＝36・1▽西区＝99・3▽手稲区＝8・4

＜A重油＞

▽中央・北区＝358・3▽東区＝289・9▽白石区＝67・3▽厚別区＝108・4▽豊平区＝133・2▽清田区＝108・9▽南区＝140・2▽西区＝214・5▽手稲区＝110・1

＜クリーンA重油＞

▽中央区＝71・7▽北・東区＝71・1▽白石・厚別・豊平・清田区＝161・5▽南・西・手稲区＝251・1

道経産局

15日に省エネ・新エネ大賞表彰式

道経産局は2018年度「北国の省エネ・新エネ大賞」の表彰式を15日午後1時から、京王プラザホテル札幌（中央区北5西4）で開催する。

今回大賞を受賞するのは、年間一次エネルギー消費量がネットでゼロとなる建築物〝ZEB〟を北海道で初めて実現した「アリガプランニング」。このほか優秀賞6件が局長から表彰を受ける。

なお、表彰式に続いて午後2時30分から同ホテルで開かれる「省エネシンポジウム」では、「省エネルギー政策の動向について」（吉川雅泰資源エネルギー庁省エネルギー対策業務室長）、「効果的に省エネを始めるポイント～産業部門、業務部門の支援事例から～」（辻晋治北海道エア・ウォーター省エネ推進グループリーダー）の2講演に続き、大賞、優秀賞受賞者による事例紹介が予定されている。

9石協 19年度総会予定

1～12月期を事業年度とする9地方石協の2019年度通常総会が13日の旭川を皮切りに開催されている。今後の開催予定（日時・会場。開催日はいずれも2月）は次の通り。

▽札幌（河辺善一理事長）＝19日午前11時・北海道石油会館

▽胆振（濱中實理事長）＝20日午後4時・蓬峡殿（室蘭市）

▽空知（米倉慎一理事長）＝21日午後5時・ホテルスエヒロ（滝川市）

▽南空知（武蔵輝彦理事長）＝25日正午・北海道グリーンランドホテルサンプラザ（岩見沢市）

▽宗谷（菅原耕理事長）＝25日午後4時30分・車屋源氏（稚内市）

▽帯広（高橋勝坦理事長）＝26日午後5時・ホテルグランテラス帯広

▽留萌（対馬健一理事長）＝27日午後4時・留萌地域消費者センター

九州

九州支局（福岡市博多区下呉服町1-15 ふくおか石油会館5階）
092（282）0908

沖縄・座間味島

待望の地上タンク完成

安定供給、経済発展を期待

沖縄県の離島、座間味村（座間味島）でガソリン地上タンクが完成、6日に落成式が行われた。燃料供給が安定し、地域経済の発展にもつながることが期待されるとともに、地元のSSはじめ関係者の努力によって実現したことが賞賛された（一部既報）。

座間味村には国内外からの観光客が急増し、ガソリンの消費量も増え続けている。座間味石油商会（仲村昌和社長・JXTG系）のSSが給油しているが、観光シーズンには給油制限するなど供給が不安な状態だった。

このため、国の過疎地対策事業として座間味港近くにガソリン地上タンクが建設された。

落成式で沖縄総合事務局の仲程倫由次長は「関係者の努力と熱意によってタンクが完成した。燃料の安定供給とともに島民の生活の向上につながります」と祝辞を述べた。

宮里哲座間味村長は「島は山地が多く、タンク設置の土地を確保するのが難しかったが、関係者の努力でやっと完成した。安定供給とともに村の発展につながることを期待します」と祝った。

◇

テープカット後、タンクを運営する座間味石油協会の仲村社長と宮里村長は「災害支援協力協定」に調印した。同協定は座間味村で大規模な災害などが発生した場合、緊急車両に対して優先給油するという内容。

座間味島
ガソリン地上タンク落成式

タンクの完成を祝う出席者

座間味島
ガソリン地上タンク落成式

災害時協定に調印した仲村社長（左）と宮里村長

九州７県

12月末・燃料別車両保有数

HV年内100万台突破へ

九州運輸局が先ごろ集計した、九州7県の昨年12月末の燃料別車両保有数（軽自動車を除く）によると、HVは前年同月比で14％、EVも10％増加した。5年前（2013年）に比較するとHVは2・4倍増で、毎年10万台以上のペースで増加している。今年末には100万台を突破することが確実とされており、EVも毎年2千台以上増加している。

燃料電池車（FCV）は福岡県で初めて100台の大台に乗ったが、宮崎、鹿児島県は〝ゼロ状態〟が続いている。

一方で、LPGは減少し続けており、昨年よりも1800台少ない2万3600台となり、近い将来、増加を続けるEVを下回る可能性が出てきた。

燃料別車両保有台数（18年12月現在）

県	ＨＶ	ＥＶ	ＦＣＶ
福　岡	363,236	5,823	109
佐　賀	59,641	1,188	16
長　崎	75,770	1,039	0
熊　本	132,765	1,868	1
大　分	83,067	1,768	12
宮　崎	78,404	1,025	0
鹿児島	114,360	1,555	0
計	907,243	14,266	138

ＶＯＣ排出量

3割減目指して

福岡と鹿児島市でセミナー

VOC（揮発性有機化合物）排出抑制セミナー（九州経済産業局主催）が福岡市と鹿児島市で先ごろ開催され、全石連の坂井信常務理事が全石連の取り組みを説明した。

ガソリンスタンドからの燃料蒸発ガスの削減についてというタイトルで、「全石連は2017年に自主行動計画を策定して取り組みを開始し、24年度までにSSから排出されるVOCを2000年度比3割削減を目指している」と話した。

また、排出抑制対策としては「計量機を更新する時は『Stage2対応機』（給油時に排出するVOCを回収する機器）を導入するよう、組合の会合や機関紙『ぜんせき』を通じて広報、情報提供している」と述べた。

VOC排出抑制について話す坂井常務

福岡県

撲滅へ向けて取り組み強化

不正軽油対策会議

福岡県不正軽油防止対策会議の幹事会がこのほど開催され、防止活動の強化について意見交換、福岡石商（喜多村利秀理事長）は活動状況を報告した。

末次竜二税務課副課長は「軽油引取税は県の税収の6％を占める貴重な財源。だが全国的に不正軽油事案が後を絶たず、巧妙化、広域化している。適正・公平な課税のためにも関係機関が連携して対応したい」と述べた。また、難波治石商専務理事は「組合が一体となり不正軽油の撲滅に取り組んでいる」と、路上抜取検査への協力、啓発ポスターやチラシ配布などの活動について説明。石商が中心となり、不正軽油追放を呼びかけるポケットティッシュを配布することなどを決めた。

熊　本

コストコ御船町進出計画

地元紙が現状を報道

西日本新聞（本社・福岡市）が先ごろ、コストコが熊本県御船町に進出する計画について「石油組合が猛反発」という内容の記事を掲載した。

記事によると、コストコは進出計画を公表していないが、関係者の話では九州自動車道の御船インターチェンジ近くの農地約11㌶を開発してSS併設の大型商業施設を建設する計画で、21年5月の開業を予定しているという。

計画に対し、熊本石商の三角清一理事長は「不当に安く売られたら周りの小さなSSはつぶれてしまう。災害時に緊急車両への給油もできなくなる」と危機感を深めている。

コストコが進出した他地域についても「宮城県富谷市に進出したため最も近いSSでは販売量が3割減った」（宮城石商）、「浜松市に進出したため数店が姿を消し、このままでは過疎地で〝スタンド難民〟が出かねない」（静岡石商）と現状を伝えている。

一方では、御船町幹部のコメントとして「誘致が成功すれば二重三重にも相乗効果があり、地域の経済力が上がる」として誘致計画を進める意向を示している。

コストコ誘致に猛反発
地元石油組合「安いガソリン打撃」
御船町「相乗効果 地域に恩恵」

「コストコ進出」を報じた新聞

計量機買取

見積無料

全国どこでも出張買取

ガソリンスタンドの廃業や計量機の入れ替えで不要になった計量機は、是非当社へお売りください。無料でお見積りいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

買取対象製品

- 固定式計量機
- ポータブル計量機
- 釣銭機
- コンプレッサー
- ノンスペース計量機
- ミニローリー
- カードリーダー
- バキュームクリーナー　他

中古部品もお任せ下さい。

計量機の中古部品を取り扱っております。古い計量機の部品が手に入らずお困りの際は、部品の不足で計量機を買い替える前に、是非当社へご相談ください。

取扱中古部品

・ノズル　・スイベル　・安全弁
・ディスプレイ　・ポンプ　・基盤
・モーター
その他様々な中古部品を取り扱っております

日本スタンドサービスは計量機や部品のエコリユース活動により、お客様の給油所運営に貢献いたします。

当社は、計量機検定／修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。

無料お見積り・お問い合わせは
0120-016-889

◆ホームページ　http://www.nssk.co.jp/
◆楽天市場店　http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/
日本スタンドサービス　検索

◆自社計量機販売　◆給油機器販売　◆計量機検定　◆計量機修理
◆中古計量機買取・販売　◆中古部品販売　◆地下タンク漏えい検査
◆移動タンク漏えい検査　◆高精度油面計　◆電気防食システム工事
◆給油所新設工事　◆給油所廃止工事　他　お気軽にご相談ください。

日本スタンドサービス株式会社

大阪本社　〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17
TEL.072-968-2211　FAX.072-968-3900

東京営業所　〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6
TEL.03-5721-4789　FAX.03-5721-4787

トレンドファイル

ZENSEKI

横浜ゴム

ブルーアースGT AE51

高性能低燃費タイヤ投入

横浜ゴムは低燃費タイヤブランド「ブルーアース」のグランドツーリングタイヤ「ブルーアースGT AE51」（写真）の発売を今月から開始した。ミドルクラスセダンをメインターゲットとし「走行性能、快適性能、環境性能のすべてに優れるグランドツーリングタイヤ」をコンセプトに開発した。タイヤサイズは245/35R19・93W～155/65R14・75Hの全57サイズ、価格はオープン。

グッドイヤー　SUV向けライン拡充

日本グッドイヤーは、今月からSUV向けのハイパフォーマンスタイヤ「イーグルF1アシメトリック3 SUV」の発売を開始した。全9サイズで価格はオープン（写真）。

イーグルシリーズのフラッグシップタイヤ「イーグルF1アシメトリック3」をSUV向けに最適化を図った。

近年、拡大傾向を見せるSUV市場に合わせて、ラインアップを拡充する。

社名変更に伴いサイトを一新

東洋ゴム

東洋ゴム工業はこのほど、今年1月1日に「TOYO TIRE」へ社名変更したのに伴い、企業サイトと製品サイトのドメインを変更。各サイトのトップページデザインと設計を刷新し、新たに「GLOBAL WEBSITE」のURLを設けた。グローバルでのメッセージ力を高めるため、欧米市場向けに展開しているウェブサイトとのデザイン統合を図った。

SS関連業界

古河電池

「エクノ」ISシリーズ刷新

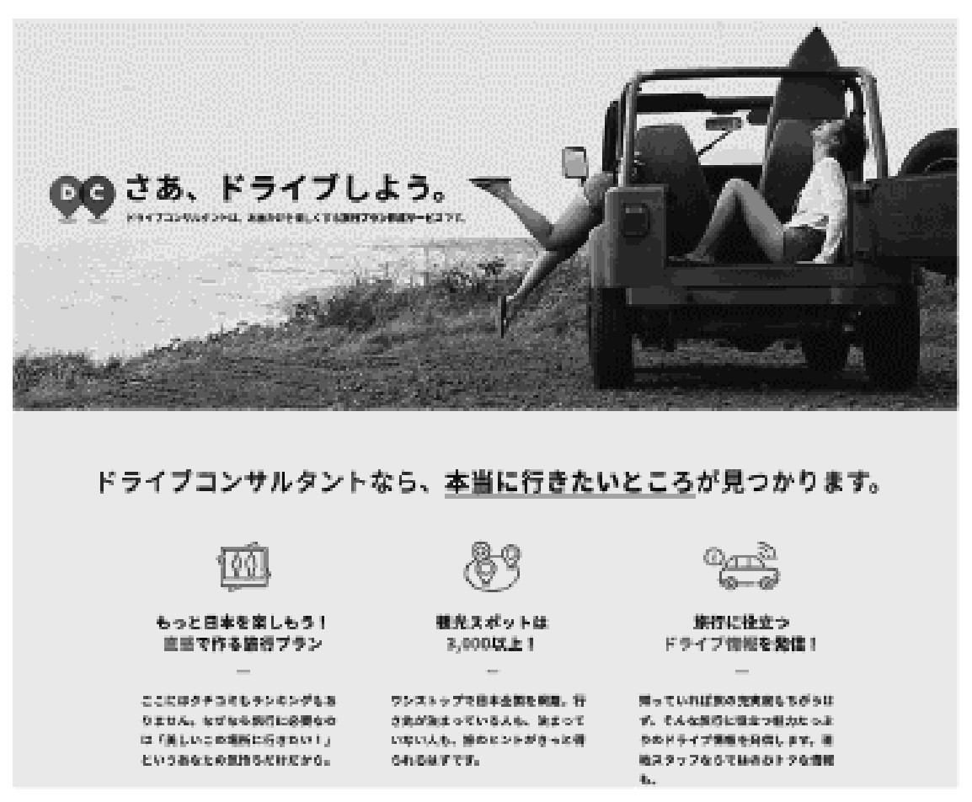
古河電池は、アイドリングストップ車用バッテリー「ECHNO（エクノ）」ISシリーズを刷新して先ごろ発売した（写真）。アイドリングストップ車の主要車種に対応するため、T-110/D31L、T-110R/D31Rを追加。合わせてN-55R/B24R、Q85R/D23R、S-95R/D26Rも追加し、適合車種を増やした。補償期間も、アイドリングストップ車で「18ヵ月または3万㌔㍍」から「24ヵ月または4万㌔㍍」に延長した。

アイドリングストップ車以外にも取り付けられることをわかりやすくPRするため、パッケージに通常車両の品番も表示した。

出光

ドライブをサポート！

新旅程サイト開設



さあ、ドライブしよう。

ドライブコンサルタントなら、本当に行きたいところが見つかります。

もっと日本を楽しもう！自由で作る旅行プラン

観光スポットは3,000以上！

旅行に役立つドライブ情報を発信！

出光興産は先ごろ、人々の移動と地域のつながりをサポートするための新しい旅程サイト「ドライブコンサルタント」を開設した（写真）。

人々の「移動体験」がより気軽で豊かなものになるよう、日本各地の観光スポット情報を発信するとともに、観光スポットまでの行程を手軽で直感的に作成できるサービスを提供する。

具体的には、旅行時期や気になる観光地を入力することで、旅行プランを最短3分で作成できる「ライトプラン」と、交通手段や旅行期間を設定し、詳細かつ具体的な旅行プランを作成できる「詳細プラン」の2機能を提供。また観光地情報や動画に加え、観光地に関するコメント、観光地周辺のイベント情報、電車・バスのフリーパスに関する情報なども掲載する。

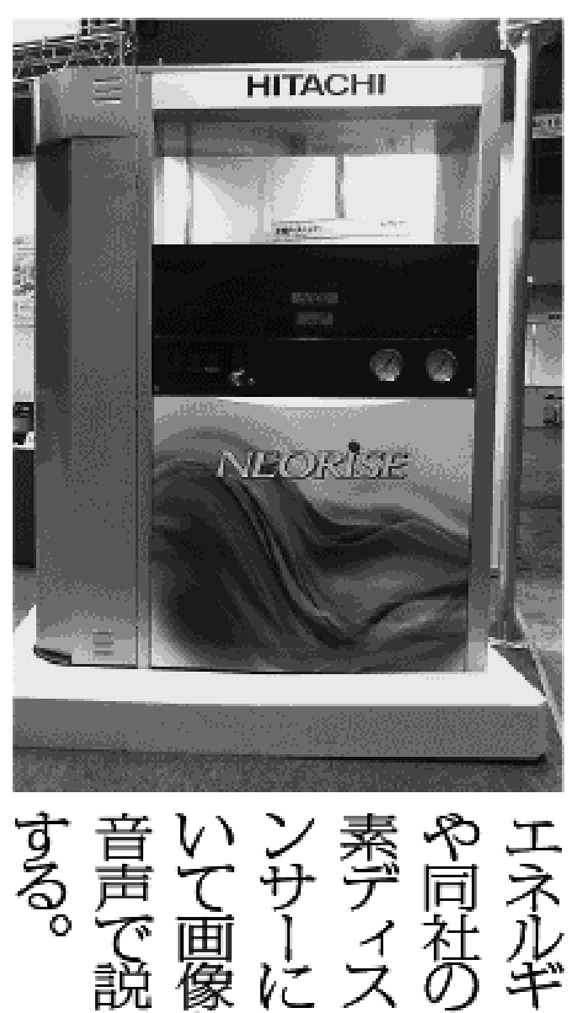
このほか、作成した旅行プラン上で立ち寄り可能な出光系SSの場所、イベント情報、日本各地の特産品を販売する出光の物販サイト・日本きらりの紹介店舗も掲載している。

環境

水素・燃料電池展へ出展

日立ASM

ディスペンサーなど紹介



日立オートモティブシステムズメジャメントは、今月27日から3月1日までの3日間にわたって、東京ビッグサイト西3・4ホールで開催される「水素・燃料電池展（FCEXPO2019）」に出展する。

FCEXPOは、水素・燃料電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置および燃料電池システムが一堂に出展する国際商談展。

同社は「水素ステーションのセルフ化へ向けた提案」をテーマに、水素ディスペンサー「NEORISE」（写真）を実機展示するとともに、水素ステーションのセルフ充填向けとして「顔認証技術等を活用した操作性・安全性向上にかかわるデモンストレーション」と「ノズルの落下を防止し、安心・安全な充填を実現する機器（セルフアーム）」を紹介する。

また、水素供給利用技術協会のブースにも水素ディスペンサーのモックを展示し、水素エネルギーや同社の水素ディスペンサーについて画像と音声で説明する。

カーライフ

ロードスターの30周年限定車

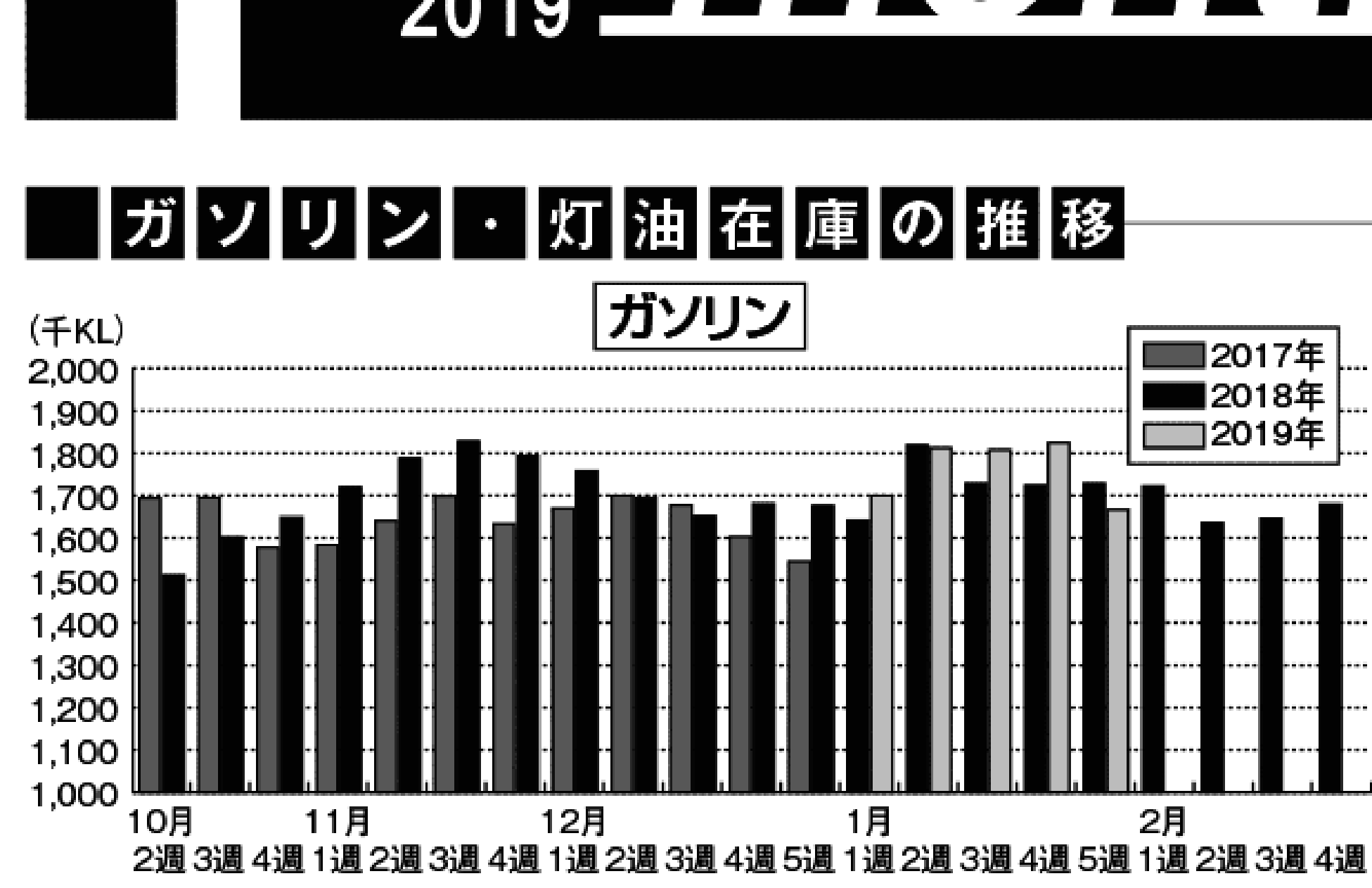
マツダ

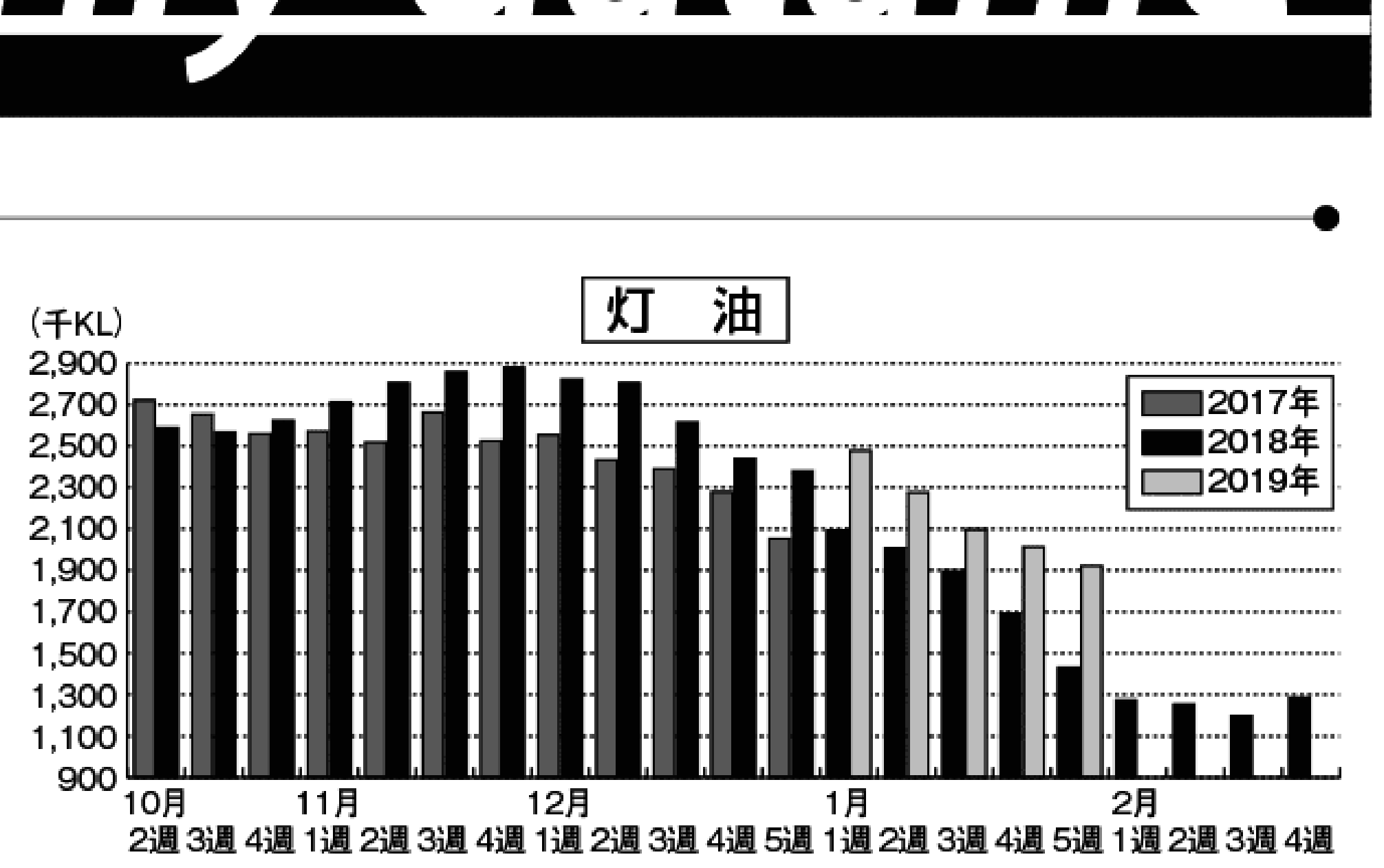
マツダは「MX-5（日本名＝ロードスター）」の生誕30周年を記念し、専用色「レーシングオレンジ」を採用した「MX-5ミアータ30thアニバーサリーエディション」（写真）をこのほど開かれた「シカゴオートショー」で公開した。レーシングオレンジの専用色に加え、アルミホイールやシートなどの特別装備を施した。ロードスターの限定車にオレンジ色を採用するのは初めて。ソフトトップとハードトップを合わせ、世界3千台限定で販売する。国内での販売方法、価格などは専用ウェブサイトで今後公開する。

---

1 2019 monthly datafile

ガソリン・灯油在庫の推移





地域別指標

卸価格、軽油は税抜き　（単位：￥／L）

	ガソリン		灯油		軽油	
	12月卸	1月小売	12月卸	1月小売	12月卸	1月小売
北海道	116.4(-8.8)	140.4(-6.4)	64.1(-8.0)	90.5(-5.4)	65.1(-8.2)	124.0(-6.0)
青　森	116.1(-8.4)	142.1(-6.2)	64.7(-7.9)	83.9(-5.4)	64.9(-7.6)	123.3(-5.9)
岩　手	116.8(-8.8)	139.5(-4.9)	65.2(-8.1)	84.1(-3.5)	65.6(-8.0)	119.7(-4.8)
宮　城	115.3(-9.1)	138.6(-6.6)	63.5(-7.8)	83.4(-5.4)	64.1(-8.3)	119.7(-5.8)
秋　田	116.8(-8.6)	144.0(-5.2)	64.8(-8.4)	84.9(-5.4)	65.8(-7.9)	127.5(-3.8)
山　形	116.1(-9.4)	144.6(-4.7)	63.8(-8.3)	85.6(-3.9)	64.4(-9.2)	127.6(-3.8)
福　島	116.4(-9.0)	144.1(-4.8)	64.7(-8.2)	85.5(-4.3)	65.1(-8.6)	124.5(-4.5)
茨　城	117.2(-8.8)	139.4(-6.2)	66.0(-7.1)	83.4(-5.2)	66.3(-8.0)	119.2(-5.4)
栃　木	116.8(-8.2)	140.5(-5.7)	65.6(-7.3)	86.5(-4.5)	65.8(-7.4)	121.5(-4.9)
群　馬	117.1(-8.5)	139.3(-6.2)	65.7(-8.0)	87.2(-4.5)	66.8(-7.7)	122.5(-4.9)
埼　玉	115.5(-8.7)	136.4(-7.1)	64.2(-7.4)	86.3(-4.6)	64.6(-7.8)	118.0(-5.4)
千　葉	115.5(-9.0)	139.4(-6.1)	63.7(-8.3)	88.6(-4.4)	64.5(-8.1)	120.4(-4.7)
東　京	115.5(-8.8)	142.5(-5.4)	63.6(-7.9)	96.1(-3.3)	64.4(-8.1)	124.0(-4.5)
神奈川	115.3(-9.1)	137.0(-6.5)	63.9(-7.7)	91.4(-2.9)	64.3(-8.3)	118.7(-5.6)
新　潟	116.7(-8.5)	139.6(-6.1)	65.0(-8.2)	90.0(-4.4)	65.7(-7.4)	123.6(-5.1)
長　野	117.6(-8.9)	149.8(-4.0)	65.9(-9.0)	88.1(-3.8)	66.5(-8.0)	128.9(-3.9)
山　梨	116.8(-9.0)	144.9(-4.5)	65.2(-8.4)	89.2(-3.5)	65.9(-8.0)	123.2(-4.0)
静　岡	116.3(-9.4)	143.6(-5.3)	65.0(-8.7)	91.8(-3.6)	65.2(-8.3)	124.4(-4.8)
愛　知	115.1(-9.0)	137.4(-5.4)	63.9(-8.1)	88.9(-3.4)	64.1(-8.4)	119.4(-5.3)
岐　阜	115.8(-9.3)	142.6(-5.6)	64.6(-8.1)	86.4(-4.1)	65.2(-8.0)	122.3(-5.4)
三　重	115.7(-8.9)	142.2(-6.3)	64.2(-8.2)	89.4(-4.3)	64.7(-8.0)	125.2(-5.0)
富　山	116.5(-9.0)	140.0(-6.4)	65.3(-8.2)	89.6(-5.0)	65.0(-8.5)	122.8(-6.6)
石　川	117.7(-8.6)	137.7(-6.3)	66.0(-7.4)	85.5(-5.4)	66.6(-7.6)	122.1(-3.8)
福　井	116.6(-9.4)	141.4(-3.9)	65.6(-7.7)	86.6(-3.4)	65.9(-8.2)	123.5(-3.0)
滋　賀	116.3(-8.6)	141.2(-6.9)	65.0(-8.3)	85.9(-4.2)	65.4(-7.8)	118.2(-5.6)
京　都	116.4(-8.9)	146.2(-5.9)	65.1(-8.2)	94.4(-2.2)	65.4(-8.3)	126.4(-4.7)
奈　良	115.7(-8.9)	140.6(-7.0)	64.3(-8.4)	85.5(-4.4)	64.7(-8.2)	120.7(-6.2)
大　阪	115.3(-8.5)	141.2(-6.4)	63.7(-8.4)	88.8(-4.1)	63.9(-8.5)	121.4(-4.7)
兵　庫	115.9(-8.9)	142.5(-6.1)	64.4(-8.4)	89.7(-3.5)	64.8(-8.1)	121.9(-5.1)
和歌山	116.4(-8.5)	141.2(-6.9)	65.2(-7.8)	88.3(-4.4)	65.2(-7.7)	120.6(-5.7)
鳥　取	116.9(-8.9)	140.5(-5.2)	65.6(-8.6)	88.6(-5.3)	65.9(-8.3)	124.8(-5.0)
島　根	116.7(-8.8)	143.5(-4.9)	65.1(-9.2)	91.4(-5.7)	65.8(-8.5)	127.5(-5.0)
岡　山	114.9(-9.0)	141.8(-6.0)	63.7(-8.2)	83.7(-5.2)	64.1(-8.1)	122.6(-5.8)
広　島	115.8(-8.8)	140.9(-5.8)	64.4(-8.2)	88.6(-3.8)	64.8(-7.9)	124.1(-4.5)
山　口	115.2(-9.2)	139.2(-5.4)	63.9(-7.9)	86.4(-4.5)	64.3(-8.2)	122.2(-5.3)
徳　島	116.3(-9.6)	140.3(-8.1)	65.6(-8.1)	84.3(-7.1)	65.7(-8.2)	122.6(-6.0)
香　川	116.6(-8.7)	147.8(-5.6)	64.9(-8.6)	86.2(-5.5)	65.2(-8.2)	125.1(-4.2)
愛　媛	116.1(-9.0)	145.8(-5.8)	64.7(-8.3)	90.3(-4.1)	65.0(-8.1)	124.8(-5.6)
高　知	116.2(-9.4)	153.1(-2.8)	64.8(-8.5)	96.0(-2.7)	65.2(-8.6)	133.0(-2.8)
福　岡	116.2(-8.7)	146.4(-6.3)	64.5(-8.4)	87.8(-4.5)	64.8(-8.4)	124.2(-4.8)
佐　賀	117.6(-8.4)	150.9(-4.4)	64.2(-9.1)	94.2(-4.1)	64.3(-9.2)	131.0(-4.4)
長　崎	121.5(-8.3)	156.0(-7.0)	68.2(-8.2)	96.5(-5.3)	69.8(-8.3)	137.8(-6.2)
熊　本	116.8(-9.0)	149.0(-4.9)	65.2(-8.2)	89.1(-5.0)	65.8(-8.6)	125.1(-3.9)
大　分	115.5(-8.6)	154.2(-4.2)	63.9(-8.5)	93.5(-3.4)	64.3(-8.3)	131.7(-3.8)
宮　崎	116.0(-8.6)	149.3(-4.1)	64.8(-7.5)	94.9(-4.0)	66.6(-6.5)	129.3(-3.7)
鹿児島	117.4(-8.6)	151.9(-4.5)	66.0(-8.3)	96.9(-4.1)	66.2(-8.1)	133.8(-4.1)
沖　縄	117.0(-9.3)	148.3(-5.8)	66.0(-8.0)	102.2(-4.6)	72.6(-7.8)	132.2(-4.3)
全　国	116.2(-8.9)	143.0(-5.8)	64.7(-8.1)	88.9(-4.4)	65.2(-8.1)	124.1(-5.0)

価格指標

	国内指標FOB		原油CIF		SS店頭価格			卸価格（軽油は税抜き）			先物最期近物		
					ガソリン	灯油	軽油	ガソリン	灯油	軽油	ガソリン	灯油	軽油
	（$/B）	（¥/L）	（$/B）	（¥/L）	（¥/L）	（¥/L）	（¥/L）	（¥/L）	（¥/L）	（¥/L）	（¥/L）	（¥/L）	（¥/L）
17年1月	53.71	39.11	53.35	39.08	130.9	77.7	110.2	109.4	60.9	56.7	50.08	51.97	46.00
18年1月	66.19	46.57	64.57	45.68	143.7	86.5	121.6	119.9	67.9	65.6	59.89	63.47	59.68
2月	62.72	42.98	68.31	46.94	144.7	88.1	122.9	118.4	67.8	65.1	57.53	64.59	60.10
3月	62.73	42.24	66.79	44.76	143.7	88.0	122.2	116.4	66.8	63.9	55.40	60.42	62.00
4月	68.26	46.56	66.20	44.26	143.5	87.8	122.1	119.2	67.4	66.6	60.07	60.90	61.56
5月	74.41	51.83	70.78	48.56	147.7	89.6	126.3	124.6	71.7	72.0	65.40	66.20	66.26
6月	73.59	51.39	76.38	52.78	152.0	92.6	130.4	126.2	73.2	73.5	63.62	66.40	68.26
7月	73.11	51.68	76.66	53.41	152.1	92.9	130.6	126.2	73.3	73.5	64.79	67.88	69.74
8月	72.48	51.10	76.96	53.89	152.0	93.0	130.7	125.5	72.7	72.9	64.72	66.48	68.65
9月	77.24	54.86	76.04	53.15	153.3	93.8	131.9	128.4	75.6	75.8	70.45	70.04	70.50
10月	79.38	56.83	79.19	56.23	158.4	98.5	136.8	132.4	79.5	79.7	71.99	74.79	74.08
11月	65.55	47.15	81.72	58.08	157.4	98.8	136.3	125.1	72.8	73.3	60.71	66.67	70.38
12月	57.32	40.92	71.68	51.00	148.8	93.3	129.1	116.2	64.7	65.2	52.19	57.68	62.60
1月	58.97	40.86	-	-	143.0	89.0	124.1	☆114.0	☆62.5	☆63.0	50.15	56.57	60.37
最近値	63.12	43.88	62.05	42.27	143.1	88.7	124.2	☆116.1	☆64.6	☆65.1	52.91	59.88	61.20

☆は本紙推計

ガソリン関連指標

（単位は全て￥／KL）

	精製卸の総コスト（海上：SS渡し格差調整済み）					卸指標別の小売りの粗利（全国平均小売価格比）				
	東商取	京浜業転	系列指標	全国平均	全国最低	東商取	京浜業転	系列指標	全国平均	全国最低
16年1月	16,190	7,100	8,940	12,530	11,030	9,930	19,020	11,720	13,590	9,630
17年1月	9,790	10,120	12,660	14,730	13,330	16,730	16,390	9,720	11,780	9,040
18年1月	13,990	20,770	18,730	19,390	18,290	18,520	11,740	9,400	13,110	9,830
2月	13,790	18,620	14,830	15,490	14,290	17,310	12,480	11,270	15,610	11,810
3月	15,010	18,940	16,410	17,080	15,880	18,680	14,750	11,670	16,610	12,210
4月	13,620	21,380	19,950	20,620	19,220	20,620	12,860	7,430	13,620	8,170
5月	13,970	22,180	21,040	21,700	20,400	19,910	11,700	6,060	12,180	6,700
6月	14,040	17,520	17,370	18,030	16,830	18,540	15,060	8,370	14,540	8,910
7月	12,690	19,580	17,810	18,470	17,370	20,410	13,520	9,240	14,630	9,680
8月	13,570	18,010	16,820	17,480	16,380	19,130	14,690	10,690	15,220	11,130
9月	14,090	20,470	20,300	20,960	19,760	20,420	14,040	10,390	13,540	10,930
10月	16,050	20,610	20,540	21,200	20,000	19,400	14,840	10,370	14,250	10,910
11月	15,630	9,580	11,270	11,930	10,630	16,920	22,960	16,890	20,610	17,530
12月	14,020	10,490	11,850	12,710	11,410	20,250	23,770	16,880	21,560	17,320
1月	12,450	17,040	17,980	18,840	17,540	23,440	19,670	13,140	☆18,430	☆13,570
最近値	9,490	14,080	15,020	15,880	14,580	22,790	18,200	11,890	☆16,400	☆12,330

☆は本紙推計

需給指標

（単位は全て千KL、太字＝100）

	燃料油販売量	（ガソリン）	（灯油）	（軽油）		原油処理量		ガソリン在庫		灯油在庫	
15年度	180,476	53,127	15,946	33,594	10月4週	3,132.7	85.7%	1,649.4	97.0%	2,622.9	105.8%
16年度	176,931	52,508	16,257	33,326	11月1週	3,104.0	84.9%	1,719.8	101.1%	2,713.5	109.5%
17年度	174,747	51,833	16,642	33,820	2週	3,445.1	94.2%	1,788.2	105.2%	2,805.2	113.2%
18年1月	16,076	4,029	2,807	2,598	3週	3,627.2	99.2%	1,829.1	107.6%	2,857.4	115.3%
2月	15,793	3,873	2,699	2,758	4週	3,649.1	99.8%	1,793.7	105.5%	2,880.5	116.2%
3月	15,109	4,328	1,736	3,049	12月1週	3,683.1	100.8%	1,757.6	103.4%	2,821.5	113.8%
4月	13,181	4,076	864	2,690	2週	3,586.9	98.1%	1,695.0	99.7%	2,804.6	113.2%
5月	13,054	4,250	550	2,622	3週	3,529.6	96.6%	1,652.1	97.2%	2,613.9	105.5%
6月	11,719	4,140	421	2,809	4週	3,565.7	97.5%	1,680.9	98.8%	2,440.4	98.5%
7月	13,505	4,647	395	2,855	5週	3,650.6	99.9%	1,677.3	98.6%	2,380.4	96.0%
8月	13,930	4,853	483	2,763	**1月1週**	**3,655.4**	**100%**	**1,700.5**	**100%**	**2,478.5**	**100%**
9月	13,007	4,183	640	2,855	2週	3,677.2	100.6%	1,812.6	106.6%	2,276.9	91.9%
10月	14,097	4,117	933	2,966	3週	3,666.7	100.3%	1,808.2	106.3%	2,097.9	84.6%
11月	14,189	4,046	1,318	2,903	4週	3,619.9	99.0%	1,824.9	107.3%	2,013.7	81.2%
12月	16,404	4,532	2,511	3,004	1月5週	3,532.3	96.6%	1,667.4	98.1%	1,920.9	77.5%

最新 New Model Carwash MIYABI ドライブスルー洗車機 雅（みやび）

洗浄力UP! ランクUP!!

最新コーティングの仕上がりに満足し、
洗車ポイントカードでリピートを促す。
目指したのは洗車による生涯顧客の創造です。

洗浄力UP 汚れに強くボディに優しい洗浄
これまでの洗浄動作を刷新!
最適な制御で洗浄力がさらに向上!!

ランクUP ポイントが貯まる! 新洗車会員!!
使えば使うほどポイントが貯まり
自動的にランクアップ!! バディカードシステム搭載!

仕上がり満足度UP 洗車単価UP

新登場

Tire Wax Dispenser

TWD1

NEW 業界初

コイン式 タイヤワックスディスペンサー

タイヤワックスを有料化へ

無料サービスから脱却し、スタッフ対応の手間も削減

After　Before

「洗車のついでにタイヤも綺麗にしたいなぁ」というドライバーの声から生まれた『タイヤワックスディスペンサー』。仕上げ場のわずかなスペースでも設置可能なスリム設計でワックス掛けが容易にできます。タイヤワックスのセルフ有料化を促進し洗車収益をサポートします。

Beauty ビユーテー株式会社 SINCE 1965
機械遺産認定の信頼と洗車機累計販売台数世界 NO.1 の実績
本社 名古屋市港区木場町2番地 TEL 052-692-2101（大代表）
ビユーテー 検索 http://www.beauty.gr.jp
ビユーテー本社事業所は環境管理に関する国際標準規格ISO14001の認証を取得しています。
ISO14001
■Network of the Beauty
北海道支店　仙台支店　上信越支店　埼玉支店　東京支店　千葉支店
東海支店　北陸支店　大阪支店　広島支店　福岡支店　南九州支店